



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

二月十七日はありがとうございました。とても勉強になりました。私は今回の話を聞いてとてもおどろきました。テレビなどで原子爆弾のことを少し知っていましたから、話を聞いて、原子爆弾の威力や細かいことがよくわかりました。私が一番印象に残ったことは原子爆弾の威力です。表面温度が7000℃で中心の温度が100万℃だということ。昔の技術で太陽よりも熱い温度でそのような物をつくったということは最新技術を使えば、世界をほろぼせるかもしれません。今、世界中に原子爆弾の1000倍の威力のものが一万六千発あります。なのでそのようなものを使わずに安全に処分してほしいと思います。また原子爆弾のおそろしさ、威力を日本だけでなく世界中に伝えていけたらいいです。

今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回、改めて原爆の恐しさを知りました。太陽よりも、熱い想像を絶する熱さが広島や長崎の上空を包みこみ、人々をおそたと考えると寒気がします。きっと、被爆者の方々は本当に、声にならないうるさかたのだと思います。資料館にある人形が「綺麗でした」といふことは、きっと再現出来ないうほど悲惨だのだと思います。こんなに悲惨な出来事なのに、今だに世界各国が合計一万六千発以上の核ミサイルを持っていることは非常に残念です。唯一無二の被爆国だから、この恐しさを知り、世界に伝えることが出来る。私はそう思います。

私はこの特別授業を受けて、一番大切なのは平和ということに改めて思いました。爆心地にいた人たちは何が何なのか分からず一瞬で消えてしまい、それ以外に被爆した人たちは熱くて本当に話を聞いていただけで苦しかったです。

人の命はとても大切という事を教えてもらい、本日は本当に大切な日だと思います。

今回は本当に有難う御座いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2 / 17

私は今まで、広島や長崎の原爆についてあまり知らず、
(失礼ですが)大したことはない、と思っていました。

しかし、こんなに悲しく苦しく、大へんなことだったとは。

7000℃の少年というタイトル。原子爆弾、リトルボーイが上空、

約600mで爆発した時の、外側の温度は7000℃。リトルボーイを

日本語にすると小さな少年。ですから、7000℃のリトルボーイ、

ということなのかな、と思いました。

ウラニウム。略してウラン。リトルボーイにあったウランの量は

60kgですが、ゴルフボールほどの1kgだけが燃焼しました。

1kgだけ。しかし、広島全体が大へんなことになってしまいました。

60kg、全てが燃焼してしまつたら...。考えるだけでも頭の中であの

人形のような姿をしていた人たちを思い出します。

いつ聞いても、何度聞いても、涙が出てきて、とても悲しく

なります。

二度と、こんなことがおきないように戦争は、絶対にやって

はいけないことだと思えます。

今回は本当にありがとうございました。この話を忘れずに

成長したいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

2月18日(土)に、原爆についてという悲しいお話をしていただき、ありがとうございました。知識としては知っていましたが、広島に行った方の経験と感情を直接聞くことにより、さらに原爆について深く知ることが出来ました。しかしそれと共に、戦争の壮絶さもわかり、とても恐ろしく、そして悲しくなりました。二度と同じことをくり返さないために何が出来るか、色々な考え方を持った人たちと、ゆくり時間をかけ、くわしく話し合いたいです。爆発しないのが一番良かったのですが、爆発したウランが1kgで良かったと思います。今は1kg以上を爆発出来る技術がありますが、それがあるからこそ危険だとわかります。なので、技術が無かった原爆の時に、偶然1kg以上のウランが爆発してしまったらと思うと、とても恐ろしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

とてもよく原爆の悲さんさを知りました。

原爆を受けた街がどうなるのか、受けた人がどれだけ辛いのか。私も資料館へ行った事がありますが、幼い頃だったのであまりしょうげきを受けず頭に残っていません。ですが、また皮ふがやけ、けがてしまったほどのろう人形を見て、しょうげきを受けました。

なぜか、怖くなり、発作を起こしてしまい、頭の中に今までの話の内容が飛ぶ裏をかけめぐりました。

私が広島で原爆を落とされてしまったわけでは無いので

その時の恐怖というものをちゃんとは実感できませんが、話してもらうだけでこれだけ怖く、発作を起こしてしまうのは正直とても驚いています。生々しい光景や表現は本を讀んでいたし、テレビを見ていると出てくるし、祖母が祖父からもよく聞かされていたので慣れていいるから大丈夫だと思っっていました。しかし、それとは比にならず、語り方、表現、画像全てを使い、話されると、リアルに想像が出来て恐怖しました。ですが、これらの事は、これから戦争を知らず若い人に伝えるべきだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今回の特別授業を受講して、被爆者の気持ちなど深く考えるよい機会になりました。当時の広島県の人たちはリトル・ボーイが落下してくるのを見てどんな気持ちになるか考えました。条件に合っているから広島に落としたという。ただそれだけで被爆者、死者が24万人と14万人というのはとても悲しくなります。

普段、知らない爆弾の細かいところまで知れて良かったです。

原爆ドームの近くで被爆した方たちはとにかく生きていたいと思

元安川に飛び込んだのかなと思いました。池田義三さんも

皮ふがはがれてしまうところを見て、とても心が持たなかったと

思います。他の8人の方もどうにか助けてあげたいという気持ち

でしたが、手をさしのべるたびに皮ふがはがれてしまいトラック

から転とうしてしまう人たちもいてバが痛んだと思います。

原爆ドーム付近の川で収容や運ぶ仕事で今考えると同じ

人間ということもあり最後まであきらめずに出来たのかなと

思います。たくさんのきず口から出てくる虫やそのいたいのが

伝わってくるほどを我慢して応急処置をした人たちが

とてもすごいなと思いました。

大切なお話、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

本日は、原爆についての授業を私たちの
ためにしてくださり、ありがとうございます
います。原爆についてあまり、くわしく知
らなかつたのでとても勉強になりました。
想像しただけでも、おそろしかった
のに、本当に見た人はおそろしいとい
うではなかつたと思います。ウラこの
全てが燃えていたと、日本が完全に
なくなつてしまつたかもしれせん。また、
原爆資料館にあった、女の人の人形を
見ただけでも悲さんだと思い、これよ
りもひどい姿の人たちがたくさんい
たら、それだけで失神してしまふかも
しれないのに、その人たちを助けようと
するのは本当にすごいことだと思いま
した。すぐに死ななかつた人は、痛い
という感覚もなかつたと思いました。
あらためて原爆のおそろしさを知ること
ができました。



原爆先生 池田眞徳 様

先日は、特別授業にいらしてくださりありがとうございました。

分かりやすいお話と衝撃的な内容、先生の淡々とした語り口の中に
ある事実に子どもたちもひきこまれ、あっという間の90分だったよ
うです。

事前に様々な戦争の映像や文学作品を教材として取り扱ってきま
したが、先生の真に迫ったお話にかなうものはないと感じました。子
どもたちの感想を読んでも、一人ひとりが真剣に核の恐ろしさ、戦争
の悲惨さに衝撃を受けつつ、将来向き合っていこうとする姿勢を感じ
ることができました。

参加された保護者も、改めてその事実の悲惨さを感じ、子どもと共
に考え、思いを共有できる大変よい機会となったようです。来年も先
生のお話を2月の第3土曜日にお聞きしたいと思っていますので、ど
うぞ宜しくお願いいたします。本当にありがとうございました。

光塩女子学院初等科 6年担任一同



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回は、原爆の恐ろしさや、その時の状況をくわしく教えて下さってありがとうございました。題名の『7000℃の少年』というのは原爆リトルボーイ(少年)が爆発した時の表面温度7000℃の事を言っているのかわかりました。池田義三さんが体験した事は、聞くだけで恐いですがその何倍もの恐怖を感じたと思います。体で感じた恐怖だけでなく、精神的な苦痛、恐怖は、私たちの想像以上だと思います。

たった1kgのウラニウムが発火しただけで、広島^の街は一瞬で焼け野原となり、人の姿が見えなくなった。これを聞くだけで、爆発時の風景が見えてきます。被爆した人はおとろく間もなく亡くなってしまったり、ケがをしたと言いつつ、中で見た映像でわかりました。今回教えてもらった事を忘れず、今の私は幸せなんだと思っ^て生活したいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

原爆先生のお父様ガチガチで入隊したと聞き、おどろいた。被爆者の姿の表現がおそろしかった。皮ガズルズルむけて全身は真赤にはれている…。想像するだけで怖かった。そして、一番おどろいた一言は先生のお父様が原爆資料館に行き、そこに展示されていた被爆者のおそろしい姿をした人形を見て言った「きれいすぎる…」という言葉だ。それは実際に見た人にしか言えない言葉だった。その人形は手がただれて、顔が真赤にはれた女性の姿をしていた。これだけでも十分ひどかったのに…と思った。私達は想像する事しかできないが体験者にとってはそれは記おく。ずとずと鮮明にその姿を覚えているのだろう。私は大半の人は皮ガズルズルむけて全身が真赤にはれた人を見た事が無い。私達にはそのおそろしさは分からないが、その「きれいすぎる」という一言が読みとれる事もある。そして、最後にこの世がどこどこで体験者が去っていく中で、私達はその話を聞き、後の世に原爆のおそろしさを伝えていかなければならない。原爆先生、本日は本当にありがとうございました。



じゅうこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

本日はお忙しい中、私たちに戦争がう地獄を
教えて下さりありがとうございました。

先生のお話を聞く前は、アメリカは、最初から広島と
長崎に火暴弓弾を落とす決めていたのかなと思っ
ていました。ですが、アメリカは最初6ヶ候補にしていた
ことが驚きました。その候補の中に、京都があつた
ことに驚きました。けれど、決められた理由が京都
にはたくさんの文化財があつたからというのは、
アメリカもちゃんと考えているなと思いました。

私はリトルボーイを空から落とすビデオを見た
時、男性が一瞬間にして、お取られるように消えた
ので、現実としてとらえられませんでした。

被爆者を助けようとして手をさしのべ接触
したら、皮膚がはがれ落ち肉が見え、白い液体が
流れ落ちると聞いた時、ゾッとしました。

人が蒸発するとは考えつきませんでした。

先生のお話を聞いて、今までよりも戦争が
はげしいという考えがより強くなりました。

今回は誠にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は今までこれほどまで原爆についてリアルに聞いたことがありませんでした。母が広島に行ったことがあり、たまに話を聞くことがありましたが、今回は本当に体験した方のお話で今までよりもさらに原爆についてくわしく知ることができました。私がいちばん衝撃を受けたのは原爆が爆発した時の温度が7000℃もあって、太陽よりも温度が高かったことでした。しかも爆心地から半径500mぐらいは、3000～4000℃あり、そこにいた人たちはほとんど亡くなってしまったと聞き、本当におどろきました。また、いちばんおもしろかったのは、爆心地から150mほどしかはなれていなかったのに助かった人の話でした。電話局の地下のトイレにいたと聞いた時はさすがにちょっと笑ってしまいました。最後に池田義三さんが話していらしたビデオを見た時、本当に実物を見た人はとても傷付いているんだと感じました。今まであまりちゃんと考えなかったことを真剣に考えることができました。このような貴重な体験ができてとてもうれしく思っています。今後も今回のこと、原爆のことを忘れずに過ごしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私が今日お話を聞かされた一番おどろいた事は、原子爆弾が爆発してから一瞬にしてそこにいたはずの人がいなくなってしまうことです。人間の水分がその一瞬にして蒸発し、炭のようになってしまうという事におどろきを隠せませんでした。また原子爆弾を落下させる候補の中で一番強くおされたのは京都だったということも知りませんでした。けれども重要な文化財があったため候補からはずされたということも初めて知りました。B29エ17.4イにつままれていた60kgのウランの中でたった1kg、ゴルフボール程の大きさの物が爆発しただけで、広島が町が焼け野原になってしまうと考えると、もし60kg全てが爆発してしまったり...と考えただけでおどろしいです。原爆ドームのまごの名前が広島県産業奨励館ということには知りませんでした。過去に何度か広島原爆投下についてビデオなどをイベントで見ることがあり、中が図書館のようになっていたことは知っていましたが、奨励館といわれていた事を知り、おどろきました。広島の方に2人の方が亡くなった。歴史的なこの原爆投下はとてもおどろしいものだと思います。チバット大佐の母の名前がエ17.4イと言う名前でしたが、なぜチバット大佐がその名前をつけたのか、疑問でした。いつまでもこの事は忘れず伝えていく事が大切だと私は思いました。今日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

広島の前爆についての考えがかわりました。

「7000℃の少年」という題名を見て、初めは、なんだろう?と首をかしげていましたが、とてもよくわかりました。

アメリカが原子爆弾を投下する条件に「空襲がなかった場所」というものがあり、広島に疎開していた人も多かったと思います。広島市の人口35万のうち、14万人という人が亡くなり、死亡率が40%と聞き、しゅうげきを受けました。熱線、衝撃波、放射線によって亡くなった方がほとんどだと聞きます。

その中でも熱線のおそろしさがきょうれつでした。6~7000℃ほどの太陽が、自分の600m上にあるのです。なにがなんだかわからないうちに、体中の水分を蒸発させられて亡くなったと思います。見た人が「いっしょん、白い光が見え、あとかたもなくきえた。あとかた、水分の蒸発だと思ふものがパッと見えただけで、コンクリートに、その人の足あとか黒くしめていた」と言っていたので、おそろしくなりました。でも、広島におとされたのは、1/60の大きさで、ゴルフボールほどしかないそうです。今、何十カ国も核爆弾をもっていますか、その何百倍もの強さと知り、みんなが、核のない世界をうたえるのもなとくです。核のおそろしさがわかった授業でした。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先日は、原子爆弾の恐しさに
ついて、講義して下さい、ありがとうございました。
私は広島平和記念公園と、資料館へ行ったことがあるのですが、まだ小こかったので、ショックで泣いてしまいました。それすらも、綺麗すぎるという、本物のクロイドを見てしまった時の恐怖は、はかり知れなかっただろうと思います。

たった1kgの核分裂で、町ごと滅してしまっただけの原子爆弾は、実験目的で使われていたことがわかり、ぞっとしました。人はここまで残酷になれるのかと思いました。効果がわかるようにするため、平野を選んだり、空襲の多かったところにしたり、あくまで死者負傷者などの犠牲は、研究結果だったのか、と哀しくなりました。

戦争には勝者はいいとはいいますが、敗者しか残さないとはいいたくないと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回はわかりやすい説明をして下さり、ありがとうございました。原爆資料館に行かれた時、すごくわかったのですが、実体験をした方々にとって、それが「こんなにきれいではない」と思ったということは、とてもなくおそろしい、地獄にいるような。私達には想像もできないような気持ちだったのだと思います。私のひいおばあちゃんは現在93才で、当時は中国に住んでいたのですが、その前は広島に住んでいたそうで、ひいおばあちゃんは無事だったのですが、知り合いが何人も亡くなってしまい、だれにも話すことのできないくらいの悲しかったそうです。しかし広島で被爆した方は、皮膚がはがれてしまった痛みとおそろしい「悲しい」といふ感情も持つことができなかったと思います。私達は、ただの「はがれてもいたい」と言っているが、皮膚がはがれる痛みというのは、その何4倍、何億倍にもおそろしいでしょう。そして、そのおりにいたがっている方を助けた隊員の人たちもおそろしさをおぼえて、かんはらってことにとっても感動しています。今回は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



2/18

この度は、原爆について教えて下さり、ありがとうございました。

教科書には書かれていない、原爆の詳しいお話は、とても貴重なものでした。

人々を太陽よりとけるかに熱い熱線で焼き、音速よりくら

げものにならないほど速い衝撃波でふきとばし、そして生き残ることがで

きた方々も、長い年月にわたって様々な症状によって苦しめる放射線の

恐ろしさは、計り知れないものであった、というのがよくわかりました。

しかし、そのような恐ろしい、「死の兵器」が世界に1万6000発も

存在しているのだ、と思うと、ふるえが止まりませんでした。

近年では、国際的に原子爆弾の実験や保有に対する規制

が少しずつ行われていますが、原子爆弾の恐ろしさを知った今、

そもそも原子爆弾の保有を禁止しなければ、問題は解決しないと思

いました。

唯一の被爆国である日本は、原爆の恐ろしさを、世界に広める

義務がある、と改めて実感しました。戦争と原爆の恐ろしさを、

世界の人人に伝え、知ってもらおう活動に、いつか私もたずさわ

たいです。そのためにも、これからさらに戦争や原爆について、学ん

でいきます。

改めて、この度は、原爆や戦争について考える機会をくださり誠に、

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}



今日は原爆についての説明をありがとうございました。たったゴルフボール一つ分のウランで、14万人にもおよぶ方が亡くなってしまうことにおどろき、そして恐怖を覚えました。太陽の表面温度を1000℃も上回る球体が現れ、音速よりも速い衝撃波に2回もおそわれ、何が起きたのかもわからずに亡くなったのだらうなと思うと胸が痛みました。私は人が亡くなる話を聞くことが苦手で、ひめゆり平和記念館に行った時も、ヒテオなどを見る事ができず、すぐに出てしまいました。今回原爆についてのお話を聞く機会を頂き、こわいとさけてばかりいるのではなく、事実を知ることの大切さを感じました。知ることはつらいことだけれど、しっかりと向き合ったり、考えたり、感じたりしていくことが大事だと思いました。

ひめゆり平和記念館の展示品がこわく、ほとんどの物を直視することのできなかつた私には、先生のお父様の「きれいすぎる。」という言葉はしょうげき的でした。

今、世界中に広島に落とされた原爆よりもいかにある核兵器がたくさんあるのお話がありました。とてもおそろしいことだと思います。まだそれが使われないように祈ることしかできませんが、大人になったらできることを考えて実行していきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



原爆は絶対にあてはいけない、
という事は分かっていたけれど、熱線
や衝撃波によっても人が死んでしま
うのだということを知りました。

ウランとはウラニウムウランの略で、たった1kgあ
るだけで人が死ぬ。広島で14万人がせくな
たのは、ゴルフボールくらいのウラン。今、世
界中のウランを合わせると16000個あるそ
うです。私としては、「それがあてどうす
るの？」という疑問ばかりです。ただ、人を
殺す道具でしかないのに...

私の祖母は、東京大空襲が起こった時
私たちぐらいたったそうです。集団疎開の
ため、地方に逃げ、東京から帰ってきた
時には焼け野原で、川には人々の死
体が流れていたそうです。

このような事かないようにしていきたい
です。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/18 (土) は私たちのために原爆のお話をしていたいただきありがとうございます。

なんとなくは知っていましたが、実際見ると、聞くのは大ちがいで、とてもはくわがありました。また本当の写真や動画などを見て、一つの原爆で何百万・何千万の命を失って、人間の恐しさを知りました。

一番心に残ったのは、原爆先生のお父さんが

原爆資料館に行き、戦争の時に人を再現

された人形を見て、「こんなきれいなものじゃない」と

いったのがとても恐かったしやはり見るのと、複元

されているものではうそなのかなと感じました。

今まででは考えられないくらいのがのひどさを

ほんの少しの時間で何千万人の人がやられてしまっ

たのは、人間の力が強く、たれにも負けないことが

わかりました。また、このような絶対に忘れて

はいけないことを後世に伝える人は高齢化し

ています。私も大人になったら、子どもや孫に伝えて

てゆきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回は、広島^の原爆^{について}、特別授業をしていただき、ありがとうございます。とても、衝撃をうけました。私は、昨年、原爆ドーム、平和記念公園、資料館に行きました。本当はもっとひどかったと聞いて、びっくりしたし、自分では、想像できないほどのことだったのだと、心をうたれました。軍隊では、色々な命令をうけて、焼け死んでしまいそうな人をしょちしたり、自分では考えられません。原爆の爆心地や大きさ、重さを知って、原子爆弾で、どれだけの人の命が奪われてしまうのか、「平和」というのが、どれだけ幸せなことか、ということを考えるきっかけになりました。

これから生きていく中で、爆撃を受けた方は、少なくとも、なってしまうと思います。その中で、広島^の原爆^を私たちが、受けついでいかなければいけない。その時のことは、想像もつかないけれど、今の生活の幸せさを大切にいくことは、とても大切なことです。

今日、この授業を受けて、改めてそう思いました。教えてくださったことを心にとめて、毎日毎日を大切に生きていこうと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は 広島 の平和記念資料館と原爆ドーム
に行、たことがあります。そこにあった展示物に私は
こわいという感情しかありませんでした。池田
義三さんは「きれいすぎる」という言葉を残し
ました。私が思うには女の人の展示物より
もっとひどい生きているか死んでいるか分からない
ような人間がたくさいたのだと思いました。

太陽よりも熱い物が落ちてくるなどみんなふっ
考えるよしもあります。そして今回は 60kg の
ウランのうち 1kg しか燃焼ほせんでした。もし 60kg
のウランが全て燃えていたら日本が現在ないと思
います。過去にこのような事があり、その事
に対して「こわい」と思うのではなくその先について
深く考えこれから二度とそのような事を起こさぬよ
う考えるのが戦死した人から受けついで私たちの役目
なのでは。と思いました。世界には今もあの広島
の町をこわした原爆が 1万 6000発残っています。

その原爆は、いったい何のためにあるのでしょうか？
今私はその事を疑問に 思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日は、広島 の原爆についておしえていただきありがとうございます。私の祖父の家が広島にありよく広島に来ていて何度か原爆ドームや資料館に行ったことがあります。見るたびにどうなっていたんだろうと気になっていました。今日特別授業を受けて原爆のことやその時の苦しさについて知ることができました。私が想像していたよりも残こくで少し怖くなりました。私の祖母も原爆にあっただけです。やはり原爆とはおそろしい物だと知りました。苦しさをみせた家族をなくした人がとてもひさんで私にはたえられないと思います。今日は、特に原爆について知れてよかったです。これから科学が発展していきますが、こんな怖い兵器を作らないようにこの世界と仲よくしてほしいなと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

広島に落ちた原爆がここまで悲惨だとは思っていませんでした。

兵隊さんが助けを求めている人の手をつかんだときに、皮膚がはがれ

落ちるまでの体だと生きてゐることすらつらいと思いました。広島 原爆

資料館に行ったとき、一番印象が強かったのが人間の両うでから皮膚が

はがれていた模型でしたが、あんな生やさしいものではないと耳聴いて

おどろきました。

リトルボーイには60kgのウランが入っていた中で1kgだけを消費

していました。ただ、ゴルフボールの大きさ1個分で広島をあそこまで

追いつめるほど、原子爆弾のおそろしさを知りました。その原子爆弾の表面

温度が太陽を上回っていて人間が黒いかげのようになってしまったり

と、とても悲惨なショックだったと思います。

原爆を落とす候補の中に横浜が入っていました。もしもそこに落とされ

ていたら、あと東京も放射線をあびていたかもしれません。

今回の話を聞いてみて、とても自分は幸せな環境にいることを実感しました。

そして、初めて原爆について深く考えることができました。原爆のあと、日本には原子

力発電所ができました。ですが、私は福島原発などもあったため、向かいを

くり返さないためにも、原子力発電所を作る必要はないと思いました。

土曜日は原爆についてくわしく話してくださりありがとうございました。

ました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回、原爆先生の授業を受けてみて、とてもしょうげきを受けました。社会の授業では、一部しかくわしくやらないのですが、原爆の時の様子や実際に被害にあった方々の感想などが聞けて、き重な体験ができました。お話を聞きながら、もし自分がその場にいたらと思っただけでもこわくなりました。でもそれは、自分が実際にいたわけではないためにいえることで、原爆の被害にあった方々はそんなひまもなく、せくな、てしま、たんだと考えると、とても苦しくなりました。そして、大人や子供、男性や女性関係なく殺されていく原爆の被害のひどさというのが、改めて分かりました。広島県をおそ、たりトルボーイという原爆には、ウランという燃料が60kgのせられていましたが、そのうちの1kgしか燃えなかつたそうです。1kgだけども、広島のとて多、くのところが燃えてしまったのに、60kg全てが燃えてしまったら、どうな、ていたか、想像もつきませんでした。これから生まれてくる子供たちにも、広島・長崎で起こってしまった原爆の話を伝えていき、そのおそろしさを分かって、二度とないようにな、していきたくたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

2/18

今日は広島に落とされた原爆についてお話を
してくたさる、ありがたうございました。

私は前に、原爆が落とされた後の写真や被爆した
人の写真を見た時に、恐くなってしまい戦争について
の本などはあまり読んだことがなかったのですが
今回、ビデオを見たりお話を伺ったりしたこと
で実際には想像もつかないような悲惨
な出来事だと分かりました。

原爆が爆発した後の様子を写真に
映したアメリカ人はどんな思いだったの
だろうと思いました。落とした人でさえ
も身震いするような光景だった、という
ことが分かりました。

私たちが暮らしている今の日本は戦争
をしていなくて平和ですが、昔、どれだけ
の悲しい出来事があったのか忘れずに
ずっど覚えていようと思います。どんなに
恐くても、過去起こってしまったことと向き
合い、本当に平和な世界にしたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

今日は「7000℃の少年～原爆先生の特^{じゅこう}別授業～」
の為にご来校くださり、ありがとうございました。

先生のお話のなかで、心に残ったのは人が炭素の固まり
となって消えてしまったことと、エノラ・ゲイの名前の由来が
チベット大佐の母親の名前だったことです。

人間が原子になって消えてしまうというのは、今の平和な
日本では考えづらいことです。最期の言葉も言えず、この世に
生きた証も、そして骨すら残らず、何があったのかわからぬまま
消えてしまった人たちは、きっと無念でならなかったと思います。
エノラ・ゲイ、そしてリトルボーイは、日本とアメリカの戦争を
終わらせるきっかけとなったとても重要なものです。

アメリカも、この原爆をおとせば日本は降伏するだろう、という
明確な意図があったのだと思います。

日本はこの戦争に、勝つつもりでいました。その日本を降伏
させる、とても凶暴な爆弾に、優しさの象徴である母親の
名前をつけるというのは、すごく不思議だなと思いました。

今回、授業を聞いて、戦争は軍同士でやるものだけど、
必ず民間人を巻きこんでしまっ、たくさんの人々の未来をうばうことが
よく理解できました。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を裏面に記入してください

衝激だった。

原子爆弾が1329から広島に向けて投下された

時の話は、原爆資料館で見たい写真や物等や

宮島に行きたい際に聞いた話等で知っていたけれど、

まじかよとまで生々しかったとは...と絶句した。

私も原爆資料館で被爆者を探して

人形を見たいけれど、あまり見れなかった。中にはそれを

見て「綺麗すぎる」とは一言...。その一言で

どれくらい現場が生々しかったのかかろうかかめれる。

恐らく私もその場にいたらショックで何も言えなくなる

だろう。恐怖にふるショックで。

"リトルボーイ"に乗っているウランが、ゴルフボール一個

程度の1kg程度のものを驚かせ、それが爆発した

だけで半径20km余りの所にまで被害が及ぶの

にも驚いた。

もし60kg全てが爆発したら、恐らく単純計算で

半径約1140m程にも被害があるのでは...?と

計算して驚いた。

とにかく核はタマヤとと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

私は原爆資料館に行きたことがあるのですが、被爆者を人形にあらわしたのを見ていて、見ていられないくらい恐ろしいものでした。ですが義三さんは「きれいすぎる」とおっしゃったそうなので、現実にはも、とぬいちゃけどをした人たちがいたということにとってもおどろきました。「はたしのがけでもやけどをした人たちの絵や、手を持つと肉がちぎれてしま、て骨がでてきてしまう絵を見ていましたが、絵だから大丈夫なだけで、現実だったらとてもこわいと思います。

原爆資料館に行くだけで原子爆弾のこわさが分かり、一生忘れられません。今回義三さんの話を聞いて、現実にはも、と恐ろしいものだと感じました。実際の体験者の方が少なくなってきました。体験者ではないと分からないことも多いとは思いますが、私でもできることなら次の世代へと語りつぎたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/18

今回は私たちのために原爆について教えていただき
ありがとうございました。

1945年8月6日、1つの原子爆弾により、広島町が焼け
野原となり、約24万人の方が被爆したのは、本当に本当に
悲しい、恐ろしい出来事だ、と思います。一瞬でたくさん
の方々が苦しい思いをしたのにも関わらず、原子爆弾のウラ
ンの内、燃焼したのは、60kg中の1kgだと知り、驚いたのと
同時に改めて原子爆弾の威力を感じさせられました。今で
は『原爆ドーム』という名で世界に知られている建物でも、
投下される前は『広島県産業奨励館』という広島県民に
愛されていた建物だ、たわけ、平和に普通に暮らして
きた生活がこの原子爆弾の投下により失われてしま
ったのだなと思いました。

原爆先生の特別授業の中で、思わず耳を防いでしまうよ
うなお話を伺い、とても胸が痛みました。でもこのよう
な胸が痛む出来事が私が生まれる何十年前も前に現実
にあつたことを学ぶことができ、良かったです。次世代にも
つないでいきたいと思うことができました。本日は本当
にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



/

本日は私達のために素晴らしい授業をして下さって

本当にありがとうございました。

原子爆弾が落とされた時、一瞬で亡くなった人は何か起きたのか、誰がこんな事をしたのか分からないまま天にめされたのだと思います。

他、苦しみながら亡くなる人、熱さに耐えきれずに亡くなった人もいます。

そんな人が35万人分の14万人もいたと聞き、とても気の毒に思いました。

私かもしの現場にいたら...と考えるとおそろしくて

体がふるえました。実際にいた人はどう思っているか不思議です。「痛い」「苦しい」はもちろん、爆弾に対しての怒りはなかったのでしょうか。

池田義三さんは苦しんでいる人に同情して沢山の人々を助け、とても感謝されている存在だと思えます。

今ではなき人だけれど、生々しい体をおぶったり手あてしたり、とても耐えていたと思えます。

本日は素晴らしい授業を、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日は、原爆について聞き、衝撃をうけました。

思った以上に怖くて、とても辛かったです。あの言葉では伝えきれないほど大変だったのだと思いました。17歳で体験し、被害にあった人々を助けたと聞き、尊敬しました。ものすごく高温で、人も建物もぼろぼろになり、ショックをうけました。原爆ドームが残っていてよかったと思います。見た人々に受け継がれていてほしいです。

私と同じ人間が原子爆弾を落とし、そして被害にあったと思うととても悲しいです。池田義三さんのビデオ、平和記念資料館での「きれいすぎる…」という言葉がとても印象に残りました。涙がでたほどです。人間が一瞬で消えるなんて、とても嫌なことです。二度とこんなことがおこってほしくありません。「兵隊さん、助けて…」これと言った人は言葉でいい表せないほど痛くて…辛かったのでしょう。今とくらべるとまったく違う世界でおきたのだと思ってしまいます。戦争、原爆などの言葉がこの世の中から消えることを願っています。

今日は本当にありがとうございました。一生忘れないと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

先生のお話を聞いて、戦争とは、本当におそろしいものだと感じました。

私は先生のお話を聞きながら、もし、今戦争が起こってしまったら、日本はどうなってしまうのだろうかと考えていました。

もしも今戦争が起きてしまったら、広島で起こった被害以上の事態になることは間違いないと思います。日本中の自然が焼きつくされ、日本中の健康な男性が入隊させられて、お国のために命をかけて戦い、人々は皆日の丸をかかげて軍歌をうたう日々になると感じました。

すると、私たちの父や兄弟がいる人は兄や弟が入隊し、先生が教えて下さったように命を生と死の境目に置くのだろうか。と不安になり、恐怖を感じました。また、男性だけでなく、女性の人々も原爆や地雷などに日夜おびえていなくてはいけない生活になってしまうのか。と改めて深く考えることができました。

二月十八日は本当に貴重なお話を、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

/

広島^の原爆^{について}のお話をしてくださり
ありがとうございました。
お話を聞きして一番印象に残ったのは、
リトルボーイが爆発したことで地面に
当たる熱線の温度が3000℃だったこと
です。普段30℃位の気温になったら暑い
感じるのに、その100倍もの温度になっ
ているのを想像すると、ゾッとします。また人間から
水分が一瞬で蒸発して炭になり、衝撃波
で吹き飛ばされてしまうのも納得できます。
私は広島^の原爆ドームや原爆当時の
資料がある資料館に行ったことが
ありません。なので今までは原爆にあまり
興味^がありませんでした。そして原爆に
ついての知識もありませんでした。池田先生
の授業はわかりやすく、当時の光景が思い
浮かぶやすかったです。このような悲しい出来事
を忘れないようにするために、後世にも残し
伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は、どうもありがとうございました。私は広島県原爆資料館、原爆ドーム、長崎の平和公園に行ったことがあります。私からすれば、資料館に展示してあるものだけで充分、こわく、おそろしかったです。しかし、今回の特別授業を受講して本当にあつたことは、もっと何倍もこわく、おそろしかったということを知りました。原爆先生の表現は、生々しく、本当に自分がその場にいるような感覚でした。池田義三さんはよく、そんな中でたえられたなとも思いました。そして、原子爆弾投下都市の候補になった都市のことを聞いていて、思ったことは、アメリカ人の軍隊の人はやさしいなということでした。専門家たちは京都をおしたけれど、軍隊の人たちは、そこには、重要な文化財がたくさんあるから、それを原子ばくだんでなくしてはいけないと考えて除外したからです。軍隊の人たちはこんな中でも、きちんと日本のことも考えてくれていたと知って、良い人だなと思いました。広島の人たちには、悪いけれど、京都ではなくて良かったなと思います。ウランの強さのことも知りました。ゴルフボールと同じ大きさの量のウランが火然えただけで広島はこんな風になってしまいました。原爆先生、今回は本当にありがとうございました。このことを忘れずに、今後も過ごしていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日は原爆の貴重なお話をありがとうございました。戦争の怖さや恐ろしさは知っていましたが、原爆の話は、あまり詳しく聞いたことはなかったもので、恐怖で戦きました。また、実体験の「軍人」の話は聞いたことがなかったもので、軍人の大変さや、辛さ、悔しさ、悲しさが、凄く伝わってきました。そして、原爆の軍人ともなると、普通の戦争より、遺体の処理がとても大変で辛くて、という嫌な思いだったと思います。「ゾーっとした」とおっしゃっていたので、そうとうだったのだと思います。「差しのべていた手を救ってやりたかった...」その想いは、誰でも思うはずです。ですが、任務を遂行しなければならなかったその辛さは、当時の人にしか、全部はわかりません。けれど、最後に見た池田義三さんのビデオで、泣きながら話されていたのを見て、「とても辛かったのかな...」と思いました。最後に、原爆を落としたアメリカの気持ちを知りたくなりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

広島^の原爆^のことは、テレビ^や本、^{など}で ある程度知っていましたが原爆先生のお話を聞いて、実際はもっと悲惨で生々しい物だとわかりました。特に、私が悲しく、かわいそうだと思、たのは一つの原爆で広島市市民の70%が被爆をし死者は14万人にのぼ、た。原爆が投下されたから数秒で衝撃波が伝わり、爆撃音もついで聞こえ、体から水分がぬけていっしょんにして炭素にな、てしま、ることです。広島市市民はなにげなく日常をおく、っていたのに、急にあっさや衝撃にみまわられて水に飛びこんだあけく亡くな、てしま、たという方々^がいたとい、るのは想像がつきませんで、した被爆してから何十年経、ても、まだ苦しんで、いる人がいたと知、って、原爆は多く^の人の命^や人生を奪、てしま、たのだなと思、いました。二度とこのような悲惨な戦争を二度としなく平和な世界にな、てほしいと思、いました。

今日は、おいそがしい中 私たちのために、ご講話をありが、とうござ、いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日は、私たち 6年生のために お話して下さい、
ありがとうございました。今日のお話で一番印象
的だったのは、最後に見せていただいた先生の
お父様のビデオです。当時のことを思い出して
カメラに向かって語るというのは、生々しい記憶を
呼び戻し、とても辛いことと思います。しかし、
こみ上げてくる思いをおさえ、はきりと話す お父様
の姿に感動しました。
私は学校にある「はだしのゲン」も全巻読みました。
とても、原爆についてくわしく書いてあり、恐怖さえも
感じましたが、やはり人の口から聞くのは違っていて、
当時のこと、人々の苦痛、原爆の恐怖、全てにおいて
衝撃を受けました。
今日 感じた思いを一生忘れず、これからも
大人になって、社会に出た時に役立てたいです。
未来のある私たちが次の世代へ、また次の世代へと
伝えていけなければならないと改めて感じ
ました。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



2/18

今日は原爆先生の授業をしてくださったこと、
ありがとうございます。正直に言うと、
私は先生のお話を聞くのかとても恐くて
緊張していました。実際にお話を聞くと、
やはりショックが大きかったです。しかし、
原爆を体験された方の本当の原爆の話を
聞き、受けとめる機会をいただけて、良
かたと思います。この話は一生心に留
めて、原爆の悲劇を忘れてはいけな
いと思います。義三さんが生き地獄のよ
うな状況でも、被爆者をできる限り助けよ
うとした、という話に心を打たれまし
た。自分がどんな状況におかれても、
相手を助けることだけを考える、という
人に私もなりたいたと思いました。

原爆を体験された方が、どんどん減って
いく日本の中で少しでも知っている話を
後の時代の人に伝えていき、原爆のこ
とを忘れないでほしいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回の授業で、原爆の本当のおそろしさを知りました。歴史の授業では習わないような事実なども詳しく説明されていたので、前半は特におそろしさが頭がいっはいてした。しかし、戦争を知らない私たちがその辛さを知ることで、これから「原爆」という言葉を聞いた時にこの授業を思い出し、真剣に考えることができると思います。広島に原子爆弾が落ちる瞬間を再現されていましたが、「ドカン!」という急な音にはとてもおどろいてしまいました。実際に原爆を経験した人はその恐怖と比にならない怖さを感じていたと思うと改めておそろしさがおそて来ます。それと、「体全体がたたれている」という表現になんとも言えないゾっとした感情があったのですが、きっと私たちが想像した以上にひどい姿だったのだと思います。後世の人々にこのことが伝えられていくことを願います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



今回、お話を伺って教科書やDVDでは知ることが
できなかつた様々なでき事を知ることができました。

原子爆弾で何十万人もの命をうばい、そして何もかもを
失ってしまう。そして、たったウラン1kgでの被害の大きさに
おどろきました。広島や長崎で被害を受けた方々は
何も悪いことをしていないのに、と思いました。

私は太平洋戦争の時代に生きていたわけではなく、
体検したわけでもないけれど、今回のお話で戦争の
苦しさそして恐ろしさを知ることができました。

また、原子爆弾がおとされた後の一部始終を伺い、
つらすぎる人々や戦争のつらさが分かりました。

終戦から約70年を経た今、戦争のお話を詳しく
伺う機会が少なくなっています。

戦争はとてもおそろしい。だからこそ、この事実を
いつまでもいつまでも忘れてはいけません。

私にとって今回の特別授業は、良い経験となりました。

伺ったお話を心に刻み、忘れることのないようにします。

もう二度と戦争が起こらないことを心から願っています。

今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

今日はおいそがしいときに、
来てくださりありがとうございました。
一番こわいと思ったのは、
最初に見た動画です。原子爆だんが
落ちていくスピードの速さに、
びっくりしました。

一番びっくりしたことは、
候補になった都市が6つあったことです。
確かに、横浜や京都は大きな都市
だ”な”と思います。京都は、寺や神社
などの文化財が多くあったからと
いう理由なら、広島や長崎にも
原子爆だんを投下させるという
ことをやめてほしかったです。

『^にエノラ、ゲイ』という名前はお母
さんの名前をつけたということだ”
お母さんは、はずかしくない
のかな”と思いました。今日は、
くわしく知れてよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

/

今日は、お忙しいなかありがとうございました。

原爆や戦争の怖さをあらためて痛感しました。

「7000℃の少年」の意味がリトルポニーと知りとてもおどろきました。また候補になった都市の内に「横浜」「新潟」「京都」が入っていたことは初めて知りました。京都や横浜は今の日本の中心的な場所でもあると思うのでそこに落とされなくてよかったです。もし落とされていれば日本の復興はもっと時間のかかるものだったと思います。2011年の3月に東日本大震災があり、原子力発電所が爆発して放射線がとびちりました。大震災であんなに大変だったのだから、と戦争の時はもっと大変でみんな後遺症として原爆症に苦しんだのだと思います。太陽よりも1000℃も熱い熱に包まれながら逃げるのはまさに地獄だったと思いました。

悲劇しか生み出さない戦争や原子爆たんはやはり必要ないと思います。多くの方は関係なかったり何もしていない人だと思うですごくつらいです。これからはもうこんな世界をくり返さない世界になってほしいです。今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



/

涙があふれて止まりませんでした。写真がないからこそ、脳で想像し、映像化して、聞いていました。先生の話し方は感情的ではなく、とても淡々としていて、まるでレターのような、脳がその場に「いる」気分になりました。

17才... 兄と同じ年です。兄が体験しているように感じました。「助けて、助けて... 兵隊さん...」人間といふべきなのかわからないほどの姿で、泣いて助けを求めらる人々を、見ているだけで、全員助けることも出来ず、すべて痛みを「転がり」回る人...。目の前に浮かび、耳に聞こえる助けの声にただただ「ごめんね」と謝るばかりです。胸が苦しくつぶれそうで、手をギュッとにぎりしめていたと、自分かわからなくなりました。そして、川の中で横たえるたくさんの方々...。熱さのあまり、川に飛び込んだのに、川はとてもとて熱く、苦しみの中この世を去り、うじ虫に体を食いつくされてしまふ...。早く、早く、楽にしてあげなさい。と気持ちだけが急いでいました。

姉を助けてという男の子。私には弟もいますので、心の中で弟が泣きそうで苦しそうで助けを求めているように思いました。せめて涙は止まったのに、また泣き出してしまいました。

最後の池田義三さんのビデオ。どんなに初ことを言葉にしても、その全ては伝えきれないもどかしさが、私にもわかりました。聞こえる音、見える景色、感触、におい、色...。体験者にはか全部はわからなくて、さて科学が発達しても、人の「思い」をわかる物は出来ないのだらうなと思います。だから、想像力、少しでも、おきかえたいなと。

とてもためになるお話、ありがとうございます。90分では、まだまだ足りなくて、もっと聞きたかったと、本当に思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日、原爆先生の特別授業を受講して、戦争のおそろしさを少し感じられました。お話しの中で一番印象に残ったことは、先生のお話の仕方です。まるで目の前におきたことのように、原爆で焼けただれて、皮ふがたれさがた両手を前に出して歩いている人たちの姿がうかびあがってきました。こわかったです。私は、祖父母に、戦争の話を聞いた事があるので、少しだけ知っていましたが、広島や、長崎に落とされた原爆については、あまりくわしく知らなかったです。広島に住んでいて被爆した人々や助けに行った人々が、こんなに苦しんだということに、びっくりしました。池田義三さんが何十年間も苦しみ、つらい思いをされたことがお手紙やビデオのお話でよく分かりました。もし、自分や家族や友達などにおこったらと思うと、いてもたってもいられません。絶対にいやです。広島に落とされた原子爆弾よりも、もっと強い力の原子爆弾を世界中の国々が、16000個も持っていることは、おかしいと思います。戦争は、人間の心も体もきずつけるものだと思います。私は、戦争は絶対にやめてはいけないことだと思います。今度、原爆ドームに行ってみたいと思います。とても貴重なお話を下さり、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回は原爆の事などいろいろな事について教えて下さりありがとうございました。最初の本の部分を読んで下さる所では、原爆が落ちた時の音や、目と耳をふさいだ姿までくわしく説明をして下さいのでも分かりやすかったです。題名が「7000℃の少年」という事でどういう事なのかなと思っていたら、7000℃まで熱かったという事にびっくりしました。太陽の温度より熱いと考えると、とても分かりやすかったです。私が一番びっくりしたのは、原子爆弾の熱量についてです。ウラン1kgで、ゴルフボールぐらいの大きさという事でした。あんなに小さいゴルフボールが広島市全体を焼きつくして、広島市の人口の約40%、14万人もの人がなくなった事におどろきました。最後の池田義三さんの映像では、辛い事をたくさんのおりこえて話して下さいているという事を泣いている所から感じる事ができました。7/27では楽しみながら原子爆弾について考える事ができませんでした。もう一つのビデオでも、どのように落ちていって、普通に過ぎていた世界にきょうふがおとされた事が分かりました。今回は改めて私達が戦争とどういふ風に戦って行くのか、伝えていくのかを考える事ができました。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生のお話を聞いて、改めて原爆のおそろしさを知りました。

何万人もの命を一瞬にしてうほう原爆が今は多くの国が持っている

ことはあってはならないことだと思います。しかも今の原爆は、広島や

長崎に落とされた時よりも強い力であると聞き、唯一の被爆国で

ある日本が、平和をうたえていくことが世界の平和へとつながり

大切なことだと思います。

池田義三さんがしゃべっていた動画を見て、私は胸をうたれ

ました。こんな戦場を實際に見て、苦しんでいた人の気持ち

は私には分かりません。けれど被爆者の方から話を聞いて、

平和をうたえていくことは私にもできます。私はこれから先、

平和の大切さを後世に伝えていけたらいいなと思いました。普

段テレビなどで原爆の話を知ったりしますが、こうしてくわしい話

を知ったのは初めてでした。これから先、被爆者の方々がいなくな

り、原子爆弾が投下された者を見たとのことのある人もいなくなっ

てしまいます。それによってまた同じことがくり返されないよう私たちが

頑張っていきたいです。

原爆先生、私たち光塩女子学院の6年生に貴重なお話をし

下さりありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/18

今回は私たちのために学校に来てくださり、ありがとうございます。前半ではとても怖い感じがしたのですがこれが原爆の怖さなんだなと実感しました。原爆が爆発するときに、「バンッ」という大きな音がしましたが本当だったら、もっとすごい音がするだろうし、その音と同時にものすごい熱気や爆風があると思うのでこんなのでこれがあったら、実体験した人に申し訳ないと思いました。目の前で一瞬にして人が消えるという驚きと恐怖感に包まれつつ、頑張って生き抜いた義三さんたちは、ほんとうにすごいと思います。また、今の時代に生まれてよかったとか思わないで、あの戦争を生き抜いた人たちのおかげで、今の自分たちが存在するということを胸に刻み、日々過ごしたいと思います。今年は終戦記念の8月15日に広島に行ってこの戦争で亡くなられた大勢の方に祈りを捧げたいです。今日は原爆先生のおかげでより、戦争についてよく知り、興味を持つことができました。感謝しています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は私たち六年生のために原爆についてのお話をしていたいただき、ありがとうございました。私は実際に人から原爆投下のことをお聞きしたことは今日が初めてでした。先生のお話の中で一番印象に残ったのは原爆が広島に投下されたシーンです。急に大きな音がしてびっくりました。でもきっと実際はもっと大きな音だったのだと思います。広島に住んだ方々の生活や、命が数秒もの間にたった1kgの少量のウランによつてうばわれる、とても悲しいことだと思いました。ただその悲しみを悲しみのままで終わらせず、次の世代に生かしていくことが大切だと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は光塩女子学院で原爆先生特別授業をして下さり
ありがとうございました。原爆について知っている事なんてほとんど
無かたため、今日の話は衝撃的な物でした。爆弾を落した
アメリカも、まさかこれほど恐い結果になるとは考えていなかった
か知れないのに、ましてや、何も知らない広島市民がどんな思いを
したのか... 考えたくもないです。とくに、焼けただれた人の話は
思わぬ顔をしかめて目をつむってしまう様な怖さでした。脂汁や
涙が垂れている様子はどうしても頭に浮かんできて、それがやけに
リアルでした。本物なんて見た事のない私がそうなのに、それを身近で
あかした人は、もっと生きたにちがしなかったと思います。

この様な事は起きてほしくないです。でも、それがいつであろうと
どこであろうと、きっと、またどこかに原爆を投下されてしまう気が
します。戦争を進でヤザがる人はそんなにはいないけれど、もし、
近未来それが起きてしまっても... 私達だけでそれを止めら
れるとは思えません。自分が何をできるか、するべきか、長い時間は
かかるだろうけど、考えて行きたいです。

本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日は、本当にありがとうございました。
この話を聞いて、おなかの底からふるえるくらい
こわくなりました。体中にやけどをおって、ひふが
ただれて、手をふれば「ひふがはがれてしまうという
ことを聞いた時は、本当にぞっとしました。原爆につ
いてのお話は、何度も聞いたことはありますが、
何度聞いてもこわいと思いました。そして、1番私がか
おどろいたのは、たった1kgのウランで「ITで」こんなに
も、大きな被害が出てしまうということです。それが
今は、リトルボーイの1000倍のい力を持った原爆を、
沢山の国がもっているということを知った時は、
身ふるいしてしまいました。もしもそんな爆弾が
投下されたら、日本はこうなってしまうのだろうかと思っ
と、とてもこわくなります。今日のお話を聞いて、戦争は
せうたいにしてはいけないことだと改めて実感しました。
こんなにおそろしいことがおきたのだから、そのひびきを
を学び、自分たちのためにも、日本の未来のためにも、
もうせうたいに戦争がおこらないようにしたいと
思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2/18

原爆先生の授業を受けて改めて戦争の恐ろしさを知りました。1945年8月6日午前8時15分、重さ4トン、直径3.12mの原爆「トルボム」により14万人もの方々が亡くなってしまいました。ものすごい熱系泉、衝撃波、方射系泉が出た事は知っていましたが、まさか、爆発した時の中心温度が100万℃で、地上に来た熱系泉が3000℃になっていたと聞きとてもおどろきました。特におどろいた事が言正言者のお話でした。一瞬にして、人の体の水が蒸発し、その人の体が消えていた事です。残っていたのは人の体の黒い影だけで先生のお話しの中で一番おどろきました。本当の写真を見た時、本当に原爆はおそろしい物だと改めて思う事ができました。そして、改めて二度と戦争の悲劇をくり返してはならないことを知り、次の世代に語りつぐ事が大切だと分かることができました。

原爆先生のお話は、とても分かりやすく感情移入できたので、より一層戦争のおそろしさを知る事ができました。原爆先生、私達に特別授業を行ってください本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/18

今日は、原子爆弾が広島に投下された時のことについて、分かりやすく、くわしくお話くださり、ありがとうございました。私は原子爆弾が広島などに投下されたことは知っていましたが、そこまでくわしくは知らなかったのです。とても良かったです。

私は前に広島の前爆のことが書かれた、「広島の前爆」という絵本を読んだことがあります。あの本に書かれているよりも、実際はすごく大変だったのだな、と今日原爆先生のお話を聞いて思いました。私が一番おどろいたのは、「ゴルフボール1個の大きさ、1kgのウランで広島は焼け野原になった」ということです。あんなに小さな大きさの球でたくさんの方が被爆されてしまうのは、威力がすごすぎる、と思いました。核は温度は中心が100万度、外側でも7000℃で、直径200mなので、すごく怖いな、と思いました。もう広島などの前爆投下からは時間が過っているのです。二度とこのようなことが起こらないよう、話を伝えていくために若い人の力が「必要だ」と思います。ですので、原爆先生のような、お父様や身近な方が被害に遭われた方などから、たくさんの方にそのおそろしさを伝えて行かなければいけないな、と改めて実感しました。資料館にある被爆された人の状態を再現したものの写真を見ましたが、あれでもひどくりにしたのに、本当はもっとひどい状態だったということを知ると、想像するだけで怖くなってしまいます。おそろしい中で色々な仕事をしてきたことは、とてもすごいな、と思いました。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

授業を受けて戦争がと"れほど"悲しかったかを知りました。先生のお父さんはどのような気持ちで、人々を助けたのか、それを思うと同じあやまちを二度とくりかえしてはいけないと思います。落とされた原子爆弾により、亡くなった人、病気の人、今も尚苦しんでいる人、大変な人がたく山います。場所が悪かったら私の祖父、祖母がせくなり、私はいなかったかもしれない。そう考えると戦争の意味が分からなくなってきました。世界的に助かった人はいたかもしれない。しかし亡くなった人の数の方が多い。広島市内だけで約14万人です。今も原爆を作っている国や戦争を行っている国はその武器一つで大勢の人の命がうばわれていることを知ってもらいたいです。この体験談を忘れないでほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日は私たちのために授業をして下さり、ありがとうございました。日本にはもう、実際に被爆し、その上生き残った人は少ないと思います。それと同時に、アメリカなど連合国で日本と戦争をした人もわずかしか生き残っていません。ですから、日本が戦争の悲さんさを忘れてはいけないのと同じで、アメリカも忘れてはいけない。戦争の犠牲者を減らすために原子爆弾を落とした、というアメリカの言い分があります。でも、当時の人々は本当にそのような思いで原爆を落としたのでしょうか。それは原爆を落とした人でなければ分かりませんし、恐らくは自分たちの責任を逃れるための言い訳なのではないでしょうか。また日本も核兵器をなくすことを訴えながらも、アメリカと条約を結んでいて安全だから、などという意見も最近もあります。私は立場上日本の戦争に意見を言うてはいけないと両親から忠告されています。国籍が韓国のために、日本に反対するような意見を述べる時は注意しなければいけない、と。でも、戦争をしてはいけないといふことは、国境を越えて分かりあうべきです。意見を述べることに、朝鮮に対する偏見など必要ありません。今回の話を聞いて、勝戦国の言い分を意味のないものにするほどの衝撃を感じました。もう二度と戦争をしてはいけない、と強く感じました。核兵器の廃絶を求める運動は決してやめてはいけません。国境をこえて賛成されなければいけないこの意見には、反対する必要性は連合国にさえありません。私はそう思います。そして、みんながそう思えるような世界にすることを、私たちで願うのを永遠に忘れないようにしなければいけないと思います。

今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆が落とされた後の被害者の方々の悲惨な様子を聞いて、いかに戦争、そして核爆弾がおそろしい物であるかわかりました。しかし、それを落としましたアメリカ側の目線で話をさくと、アメリカが絶対的な悪ではないこと、日本も多くの罪のない人々を殺してきたことを思い出し、複雑な気持ちになりました。ただ、とにかく高度な技術を人の発展のためではなく、殺りくのために使ったことは否定のしようがない大きなあやまるた、たと思います。それがまたくり返されることかないよう、これからの未来を担う私達は決意しておかなければいけないとわかりました。今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

/

お忙しい中で私たちに特別授業を
してくださりありがとうございました。私にとって戦争
の原爆はあまりピンときていなかったのですが、先生
の授業でありありと原爆のようすが思いうかべら
れるようになりました。マンガのはだしのゲンを読む
のがコワかったのですがもう二度と戦争や原爆を起
こさないためにも読んでみようかなと思いました。現在
の日本は戦争をしない国ですがいくら日本が戦争を
しなくても巻きこまれてしまう可能性もじゅうぶんある
と私は感じています。日本は核兵器を持っていませんが、
世界の国々がそれぞれすべての核兵器を爆発させ
てしまったら...と考えるとおそろしいです。私はこの
授業を聞いてもう二度と戦争をさせないように戦
争のおそろしさについて次の世代にどんどんはなして
わかってもらいたいです。私も原爆先生のようにお話
だけではなくお話の中におかりやすく音をくみこんで、少しでも
戦争をやらせないために役に立ちたいなと思いました。
今回はていねいに教えてくださりありがとうございました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/18

授業を受けて、もう2度と原爆が使われないといい
など心から思いました。今は技術が進歩してしまい、
一瞬で多くの方が亡くなってしまふなんて、かわいそうです。
亡くなった方だけでなく、ケがをした方も つらかったん
だらうなと思いました。

また、死体を燃やしていた兵隊さんのことを思うと、
助けてあげたくても、トラックの荷台にもものぼれない
人だったり、やけどをおって苦しむ人々を見て、やりきれ
ない気持ちでいたのだと思います。

何万人もの人がその一瞬で亡くなって、炭になって
しまう そんなものが世界にあってはいけません。
この戦争や原爆のことは忘れてはいけない
ことだと思うので、原爆資料館などに行って
しっかり知りたいです。

もし、原爆投下都市の条件に合う都市がなかったら、
もし、広島が悪天候だったら、こんな悲劇は起こら
なかつたのかもしれませんが、このことが教訓となって
他の世界で悲劇が起こらなければ、被爆国として
意味があると思います。 今日ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は、私達光塩女子学院の六年生に先生の貴重なお話をしてくださってありがとうございました。私は、「原子爆弾リトルボーイ」についての話が印象に残っています。広島での悲しい結果の原因がウラン1kg分と知り、言葉が何も出なくなりました。しかし、現在の技術で原子爆弾をつくと広島の時約千倍の力を持つものにもかかわらずその爆弾を保有している国があるなんて、想像ができません。もう二度同じ失敗をくり返すことがないように戦争を体験していない人にも戦争時の様子やおそろしさをこれから何十年後も伝えていくことがいかに大事かを改めて実感できました。自分自身ももっと戦争について知り、後の人々に伝えていきたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/18

私は、もう2度とこのようなことが起きるはならないと、改めて身にしみました。周りの人で戦争なんて私達には関係ないと言っていた人がいました。しかし、そうではないと思います。自分の身の周りで起こりうるからです。私の祖母は、戦争のとき幼かったのですが生きていて、京都府に住んでいました。私は今回お話を聞いて、初めて京都が原爆投下の候補で1番おされていたことを知りました。もし文化財などがなければ今ここに私は居ないと思います。こんなに原爆が近いできごとだったことに、衝撃を受けました。お話をうかがってこのようなことが起こると分かっていながら、なぜアメリカは原爆をしかも2発も投下したのかと思いました。別の方法はいくらでもあるのにと思いました。負けることを考えていなかった日本もおかしいと思いました。日本は、世界の原爆を持っている国に原爆のおそろしさを伝えていかなければならないと思いました。私は、原爆資料館に行ったことがあるのですが、とても衝撃を受けたことを今でも覚えています。しかし、今日お話ししてくださった池田眞徳さんのお父様が、おしゃた「きれいな」というのにおどろきました。この言葉は体験した方が言うことができなないのでとても心にしみました。戦争はくり返してはいけないことが分かったので他の人にも伝えていきたいです。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/18

今回、このような場を設けて下さり、ありがとうございます。お話を聞く前は原爆はただすごく強い物だけだと思っていました。ですが池田さんのお話を聞き言葉で表すことの出来ることのものではないことを実感しました。義三さんが実際の被爆者でありビデオを見ていると思えるものがありつらい気持ちになる程すごい体験をしたのだと思います。本当に行動した通りにお話して頂きありがとうございます。特に印象に残っているのは階段に座っていた男性がほんの1秒ぐらいの間に消えてしまい座っていた跡だけが残ってしまったことです。普通20歳で行くはずの兵隊さんは17歳で行くことになり、しまう程その当時の日本は追い込まれている事が分かります。死体を焼く作業がどれほどつらく悲しい気持ちにさせるかは分かりませんが助けたいという気持ちは共感できます。でも、助けてあげられない自分とのか、とろけ目に見えてくるようです。だらだらと垂れる皮ふは見ているだけで胸がはりさけそうです。原子爆弾を落とす場所をどうして日本にしたのか不思議に思います。でも、日本が落とされずに他の国がもっと被害が大きくなっていたのかもしれないと思うともう何も分からなくなってしまう。京都を外す理由があるのなら日本自体に落としてほしくなかったです。熱風とかが7000℃もあつては考えられない程恐ろしい出来事です。60kgのうちのたった1kgがこんな被害をもたらすとはアメリカも予想していなかったと思います。でもこのような結果になったことでこれから原子爆弾を用いる事は無くなると思うので結果を受け入れてこれからは平和の為に原子爆弾を所持している国はこれから拡散させないように丁寧に扱ってほしいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日、原爆先生のお話を聞いて、私ほとても悲しくなりました。戦争によって失われた命は、どれだけ待っても戻りません。しかも、最期がこのように残こくと、何で戦争なんか始めたんだろう、と本当に思います。たった一つの爆弾によって何十万人もが亡くなり、今も苦しんでいると思うと、本当に胸が痛くなります。ラジオゾンデという観測機まで落として、何でそでまでしたんだろう、と思いました。日本が、広島が、長崎が、アメリカの実験場にされたことが本当に悲しいです。また、原爆のいかにには本当におどろきました。太陽が頭上たったの600mのところに着き、しかもそれで生き残った人の苦しみは、言葉では言い表せないと思います。普通にくらしていただけなのに、なぜ？と思ったはずです。原爆資料館には、見るだけで震えが止まらなくなるものがたくさん置いてあります。それでも池田さんのお父さんが見られた光景に比べると生やさしいものだ、ということは、実際はもっと悲しかったということ。もう二度と世界中の人がそんな光景を見ないような平和な世界を望んでいます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話をうかがって、改めて原爆のおそろしさ、戦争のおそろしさを知りました。原爆はもともととても怖いと思っていました。でも、先生のお話を聞いたり、映像を見たりして原爆は私が想像していた以上に怖かったです。特におそろしく思ったのは、太陽の表面温度より高い7000℃の原子爆弾が落ちてきたということです。とても考えられません。7000℃の原子爆弾なんて私には想像もできません。また、映像を見ておどろいたことは、原子爆弾が落ちてきて人間の体内の水分がなくなってしまうということです。原子爆弾が落ちて人間がかけになる映像を見た時はとてもしりぞけました。いっしょんにして人間が溶けて炭になってしまうことに何も考えられませんでした。

ふだん何げなく過ごしている毎日がとても幸せだということに改めて気がつきました。お話を聞いてもう二度と戦争してはいけないと思いました。戦争は人を傷つける絶対にやってはいけないものです。だから世界が平和になるために自分にできることは何か、考えようと思います。

私たちのためにお話をしてくださり、本当にありがとうございました。何があっても、平和が一番だと改めて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、光塩女子学院で原爆先生の特別授業をしていただき、ありがとうございます。

先生の授業で原子爆弾の威力を知りましたが7000℃という熱や衝撃波は私の日常生活とかけ離れていて、実感がありませんでした。しかし、被爆者のつらさを想像すると胸がいたたまれない思いになります。

今、北朝鮮などで核実験を行っていることがニュースになっています。もう、二度と悲惨な戦争を起こしてはならないと日本は誓ったはずなのに…。一刻も早くこの世界から原子爆弾などの核が消えてほしいと思います。

リトルホーイは約4t、その内ウランは60kg、燃焼したウランは1kgという全体の重さと比べて少ない量ですが、威力がすごいのでおどろきました。

私は広島や長崎の被爆地にはまだ行ったことがありません。戦争の恐ろしさをより深く刻むため、今度行ってみたいと思います。

これから戦争について深く考えていきたいです。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日は、原爆のお話を下さり、ありがとうございました。
ございました。

「ヒロシマの9日間」を短くなおかつ分かりやすく、
説明して下さいありがとうございます。

「原爆先生がやってきた!」も今度買って読みたいと
思います。

お話を聞いて、原子爆だんっておそろいなと思いました。
B29は昔見たことはあったけれど、そんなにこ
わいものだと思っていなかったなので、びっくりしました。

原爆ドームは、今度、行ってみたいと思います。

太陽より1000℃も熱いなんてびっくりしました。

被爆者で、生き残っている方たちは、大変なご
苦労があったと思います。だからこそ、もう二度と
戦争はしてほくないだろうし、核兵器をなくすと
いう、先代の思いを後世に伝えなくてはならな
いなと思いました。

クイズは二問とも、難しかったけれど正解者^か出て
良かったです。

今日は、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/18

授業を受けて、一番思ったことは「くり返してはならない」ということ。昔から戦争の悲劇を知っていましたが、原爆先生のお話や、エリゲイが広島に向かっている姿を見て、とても苦しくなりました。たったゴルフボールサイズのウランで40%の方が死んでしまう...。一瞬にして94%の命が消えてゆく。特に、ビルの下で座っている男性が炭になってしまう姿が印象に残りました。もし私の上に中心部が100万と外側が7000%の球体があったら...考えるだけで震えています。今は、突然原子爆弾やB-29がおそってくる心配や不安はありません。でもそれは、悲劇をくり返さないように、しているからだ」と改めておられました。広島、原爆資料館に行つて、おなめ前に手をのびさげている人形を見たことはありません。でも見たら足がすくんでしまうと思ひ、写真を見ているだけでも背筋がリクリクワツとしていました。だから義三さんが「優しすぎる」とおっしゃっていたのにはとてもおどろきました。実体験者の義三さんがおっしゃっていた「フーフの言葉が現実とすることが難しく、物語のようになり、聞こえてしまうことも多々ありました。今、私たちが平和のためにできることは何だろうか？私は「忘れないことだ」と思っています。今も戦争で苦しむ方はたくさんいます。その中で、戦争の話聞いた人々が原爆先生のように「戦争の恐ろしさ、大切な命」について、話すことが効果的です。これからもそして117まで、悲劇を起こしてはならない、この意思を貫き通してきたいです。本当に今日は貴重な時間をありがとうございました。必ずこれからに生かしていきます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



2/8

私は原爆先生の授業を受けていろいろなことを
思いました。実際に体験していない私たちには
分からないけれど、被爆者や原子爆弾に
よって亡くなってしまった14万人の方々、そしてその方々の
遺族は、8月6日、9日が来るたびに、とても胸が
痛いのだなと思います。また、同じようなあやまちを
おかして、戦争などをするということは、決して
あってはいけないことなのだと改めて実感
しました。戦争に関係のない市民が殺さ
れるのは、糸内得がいけません。

私は、広島に行ったことがありませんが
今度家族と一緒に広島へ訪れ、原爆
ドームと原爆資料館へ行きたいと思っ
ます。原子爆弾の中に入っているウラン1kg
で広島を破かいするほどの威力なのに、
ウランが60kgもあって、それを爆発させたら、
どうなってしまうのか、みんなと話し合っ
てみようと思います。今日は本当にありがとう
ございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の授業を受けて、当時の広島の状態はとても苦しく、大変な物だということが分かりました。この時働いていた人たちは、とてもがまんして、お国のために行動をとっていたのだと思います。どんなにいやな仕事でも、苦しんでいる人を前に、何もしない。ということは絶対にしないのだと思いました。この話を聞いて、戦争のおそろしさ、こわさを知ることができ、とてもうれしかったです。今はもう「戦争をしない日本」として生まれ変わりましたが、外国では、まだたくさんの国が戦争をしています。世界が平和になるためには、このようなあやまちを、もう二度とくり返さないことが大事だと思います。この広島のことをよく知り、色々な人に伝えたいです。今回は、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



今回、原爆先生の話 を聞いて、私は広島原爆について、甘く見ていたんだなと実感しました。やはり原爆という、どうしても被害にあつた一般の方ばかりを注目してしまいがちですが、兵隊さんの苦しみや毎日死体を探し、運び続けた日々の悲しみは、想像を絶するものでした。原爆先生のお父様のVTRを観て、より実感することができました。授業では、「8月6日に広島原爆」としか習わないので、このような話を聞くのはよい機会だ、たなと思いました。音や動画、画像をみたり、聞いたりしながら話を聞くことで当時の人たちの恐怖を少しは感じられたかなと思いました。でも、私たちの想像する「広島原爆」はまだ甘いもので、当時の方々が体験した原爆とは、今の私たちには、はかり知れないものだと思います。核の大きさも直径200m程だと知り、もし自分の頭上からそんなものが落ちてきたら...と考えても、考えられません。とさの判断で、非常用のおけに入った人の残った水の量やトラックまでもが骨組みまでしか残らない程だと聞いて、7000℃という温度の恐ろしさを少し実感できました。戦争の怖さも実感し、もう2度とくり返してはならないと思いました。広島原爆のあの博物館にも行ってみたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



2 / 18

今回は原爆についての詳しい授業をありがとうございました。
今回の話を聞いて改めて戦争のおそろしさを実感しました。
特に小布く感じたのは、原爆が落ちた後の人々の様子です。
3000℃の熱線かん々をおそった時、内臓の水分が
干くなったとかかかれ、ものすごく衝撃をうけました。また、
痛みにとらえていた人の気持ちを考えると、みふるいそ
したくなります。生きられたとしても内シミシなとかか
れき、苦しい思いをされていたのだと思います。私も、同じ
立場たたら、多分死にたいなと思ってしまうはずで
す。だから、必死に最後の最後まで生きようと努力した人は、
強くてえらいなと思いました。

戦争をしても何一つ得られるものはありません。全ての
ものを失くし、苦しい、辛い、痛い、悔しい...そんな
マイナスの感情だけが残ると思います。だから戦争は
絶対にくり返さなくてはいけません。たんだん
戦争を体験し、語り沉んでいく人々から少なくなるなか
に、私にできることはないかをいつも忘れずにいきたい
です。小さな幸せからとんとん広くして、世界中が平和に
なることを願います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今回、原爆についての話をさせて頂き、ありがとうございます。私は、広島市の原爆ドームに行ったことがあります。それを生で見たというのは、衝撃的でした。広島市の人口が35万人という中で被爆者数が24万人なので、生き残っている人は、ある意味、奇跡だと思います。広島県産業奨励館の写真を見て、それが、ほぼ骨組みだけの物になるとは、想像もつかないと思います。でも、今、世界遺産として忘れられないようにあるので、良かったです。原子爆弾という太陽よりも熱い物が、空から、ふっ、と来て、一瞬にして広島を火の海にしてしまったので、本当にこわいです。しかも外出していた人は、身体の水分会が蒸発して、すみになり、しかも、爆発音で粉々にくだけてしまひ、なくなるというのは、本当に恐ろしいと思いました。このようなことが起きることがなく、平和に暮らしている事が幸せです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回は、広島原爆についてお話しいただき、ありがとうございました。原爆についてはよくテレビ番組などで放送されていて知っていましたか。今回原子爆弾についてくわしくお話を聞いて、改めて原子爆弾のおそろしさを実感しました。特に原子爆弾の温度と、被害にあつた場所の大きさにおどろきました。また、被爆された方の姿についてお話を聞いた時、寒気がしました。座っていた人がいっしょんで消えてしまった映像を見て、よほどの熱さなんだなと思いました。また、爆弾投下都市の候補に横浜があつたのを見て、昔の東京も被爆後の広島のようになつてしまつたかもしれななと思います。原爆はとてもおそろしいものだなと思いました。一つの原子爆弾で、14万人の方が亡くなつたので、もう二度と戦争は起こさななほうかいいなと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



2 / 18

今日は、原爆のことについて教えてください、ありがとうございます。
私も、広島資料館に行ったことがあります。あそこに展示されているものでもおそろしく感じるのに、池田義三さんが言った「きれいすぎる」という言葉から想像すると、遺体を片付ける作業がどれだけ大変だったのかが、何となく分かります。今日の授業を受けて、一番驚いたのは、「原爆の強さ」です。私は「おこりいぞう」という、広島原爆をテーマにした本や、学校での勉強でしか、原爆のことについてふれていなかったのですが、今回のお話はかなり衝撃でした。リトルボーイが爆発した時の様子は、現代の私たちには、あまり分からないのかなと思いました。太陽より高い温度で眼中にせまってきたらと考えれば、身震いも止まりません。また、ゴルフボール17分の大きさのウランたった1kgで、広島市が被爆してしまうことに、とても驚きました。もし、このウランが60倍の60kg、爆発していたら、被害が60倍になり、死者がものおおい量になっていたかもしれません。本当に怖いと思いました。その他にも「原爆雲」も、特別な形なんだと、改めて思いました。確かに、そこが真空状態になると、ものすごい上昇気流が起こり、あのような、独特な原爆雲がどまるのだと知りました。

日本はこの原爆をとおして、戦争のおそろしさを知ったのだと思います。もうこのようなことが起こらないよう、平和を願います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

今回は私たちのために原爆のおそろしさを教えてくださってありがとうございます。私が想像する広島のお城よりも、宮祭の方が現実ではないほどおそろしかったんだと思うと指先のふるえがとまりません。原爆投下のすぐ下の人たちはいっしょんにして消えたのも魔法のようで「きょうふがゾッときます。

私も最近、広島に行きました。資料館には行っていませんが原爆ドームや平和公園を見ました。原爆ドームは青い空の下、おだやかな風景に今はつまれています。そこで原爆が落ちて、人間の体が人間に見えなくなるなんてやっぱり考えられません。私はなぜアメリカ人がこのようなことをして、今も世界の国々が広島・長崎の原爆を作っているのか理解できません。なぜ、罪なき人々を苦しめるのでしょうか。本当に戦争はおそろしいです。戦争を経験したことはもちろんありませんが、原爆先生のお話を次の世代、また次の世代、または世界へと広めて原爆、戦争のおそろしさを世界中の人々に伝えたいです。

今回はビデオも見て映像で原爆を知りました。私は優しい思いやりの心があれば支え合って戦争がなくなると思います。あの映像、お話を絶対に忘れたくないです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



名前は裏面に記入してください

この度は、私達も年生に、原爆について 教えていただき、

ありがとうございます。

原爆のおそろしさは自分では分かっていたつもりですが、あらためて

とてもおそろしいものだと分かりました。また、被爆をしてない私でもあんな
におそろしいのに、被爆をしている方達は、もっとおそろしく、辛いと思うと、胸が

痛みます。広島ではなく、長崎の原爆資料館に行かことはありま
が、資料館はとても小布かったです。火傷のあとの写真が痛しかったです。

資料館で、あんなに小布いのに、ビデオでおっしゃっていた、広島の人影のように
生々しくはない、という言葉が、私達たら絶対に耐えられないだろう、と思い
ました。今度は、広島の資料館にも行ってみたいと思います。

第一候補が、広島、第二候補が、小倉、第三候補が、長崎とありましたが、「京都
に落とすのかいいない」と考えるのであれば、「原爆を落とすのもいいない」と考えてほ
しかったです。また、人が一しゅんの間に、蒸発して、炭火になって、炭になる、という
とても信じがたい出来事が、実際に起きた、というのは、より、原爆のおそろしさも
実感できるものでした。

今、世界のさまざまな国で、核兵器も作っている、というのを、ニュース
で耳にします。核兵器というものは、本当に、おそろしいものだと思うので、やめてほ
しいというのが、率直な意見です。

今回の授業は、とても勉強になり、心に刺りました。本当にありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回はお忙しい中、和達のために大事なお話を聞かせて下さり、本当にありがとうございました。広島と長崎に落とされた原子爆弾、落とされた事は知っていても、くわしくは知りませんでした。「はだしのゲン」でも、怖い絵画がたくさん出てきました。100万℃、又は7000℃の熱線、そして440m/秒の衝撃波、そして福島と一糸の放射線、それにたったゴルフボールの大きさの1kgのウラン、この4つで広島市がふきとび、あやしいなキノコ雲、そしてたくさんの人々、考えるだけでゾッとします。5人中2人の方は亡くなっている、怖くて話を聞いている最中に何度も鳥はだかたちました。広島も長崎もたくさんの人々が被爆にあい、亡くなりました。太陽より熱い熱線にもかき苦しむ人々が目にうかびます。義三さんに助けられた女性も、もし弟さんがいなかったり、そこに軍隊の人がいなければ、生きのびられなかったと思います。150m付近にいたけれど、地下のトイレに居て助かった人、たくさんの人々がいた事を改めて知る事ができました。今回は本当にどうもありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

本日は私たちの学校に来て下さりありがとうございました。私は戦争についてのお話を聞くのがこわいのできらいです。しかし、原爆先生をうかがって、少しは興味を持つことが出来ました。1945年8月に広島に原爆が落とされたことは知っていましたが、内容をくわしくは知りませんでした。お話しして下さいました先生のお父様が本当に経験したことと考えると、とてもおどろきます。皮心かむけて肉が見えている人たちが街中を歩いているなんて今では想像も出来ません。太陽より熱い原子爆たんか自分の頭をとんでいたら、早く死にたいとか思わないと思います。そのようなことが今から約70年程前にはあったと考えると、昔の人はすごくつらかったと思います。つらい人たちを放っておいてはかわいそうだけれどももし私が体験していたら自分の身を守るのが第一で、人を助けるのは第二になってしまいます。今の日本は平和でも他国で戦争をやっているのでも早く終わりにして、世界が平和になってほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



授業を受けて戦争はすさまじいものだと改めて感じました。兵隊の方々を始めとした被爆者の方々は想像を絶する程の痛み、苦しみ、悲しみ等と"れだけの暗い感情を抱いたことでしょうか。

原爆先生がお話の中の原爆が落ちて爆発するシーンで、「バン！」とおっしゃった時とてもびっくりして、「ああ、被爆した方もこんな感じ、いや、これ以上の衝撃をくらったのだな」と思いました。

また、ウランが1kgではなく60kg全て爆発したらと思ってぞっとしました。しかも、それをたくさんの方々が保有していると聞き、おどろきました。広島、長崎に、それよりも威力が弱いものを落としてもあの様な悲劇が起こったことを、世界はもう忘れてしまったのでしょうか？

原爆先生のお話を聞いて、やはりもう二度と戦争をしてはいけませんと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して



今回は原爆の悲惨なお話をしてくださり、ありがとうございました。一番印象に残ったのは、原爆投下の広島のプロビデオです。座っていた人が一瞬でふき飛ばされて影だけが残っていた場面が忘れられません。キノコ雲が、四国から見てもあれほどに大きいとは知らなかったの？ おどろきました。また、ゴルフボールくらいのウランで広島を全て焼きつくして14万人の死者を出すことにきょうかしました。もし、60kgのウランが使われていたら、日本はどうなってしまったのだろうか、と思います。今、広島や長崎に投下された、1000万倍の力をもつ核爆弾を世界中の国々が合わせて16000発も所持しているなんて、本当に大変なことだと思いました。太陽よりも1000℃ 熱いものが地上から600mのところにあるなんて、灼熱地獄だと思いました。もし、京都に原子爆弾が落とされていたら重要な文化財がなくなってしまうので、広島や長崎に落ちたから良かった、というわけではないけれど、京都に落ちなくて良かった、と思いました。戦争をしても悲しむ人ばかりです。今回、お話を聞いて、広島のような悲劇を二度と繰り返してはいけなうと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

/

原爆先生、特別授業をありがとうございました。
原子爆弾は熱線、衝撃波、放射線が特に怖い
とよくわかりました。私が一番おどろいたことは、
原爆が落とされると、人間が黒い影になってしまうこと
についての理由です。本で読んだか、話を聞いたか
忘れてしまいましたか、黒い影になってしまうことは
知っていましたが、今までは「そうなんだ。怖いな。程度
でしたが、理由を今日教わってから、怖いではあられ
しきれないことだと感じました。

今の時代は平和です。私は「平和とは戦争をやめる
ことだけとは思いません。けれども、戦争をやめたら、国民
の自由が尊重されます。みんなが楽しく暮らせる、それが
私は平和だと感じます。戦争をやってしまったら、笑うことや
生きることまでも保障されません。そんな戦争はもう二度
とやってはいけない、たくさんの人を命をうばうことはや
ってはいけないと改めて思いました。今は戦争を経験し
た人が少なくなってきた、戦争がどれほどおそろしいものだ、
たが少し忘れられてきています。私も体験したことはありません。
ですから、この体験談を忘れずに過していきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して



2/18

私は原爆資料館の方に行ったことがありますが、被爆者の方のい品などが置いてあり、見ているだけで胸がしめつけられるような感じが思っていた時は見えていました。しかし、今日話を聞かかかって、資料館で見たときに思ったことより、ずっと辛いかな、と思いました。被爆率は70%で、5人に2人の方が亡くなっているということを知り、映画とか、本当に世界でおきていたことのように感じました。熱線だけでもたくさんの方が亡くなっていると思うのに、音速よりも速い衝撃波が加わり、一瞬でバラバラにされていく、という人がおぼろげに2万人いるということにすごくおどろきました。また、ビルの階段に座っていた人のかけのあとの写真を見て、さっきまでそこにいた人が急にいなくなったら、私はどうするんだろうと考えました。きっと、その場に立ち尽くすと思います。それくらい、11ちゃんて亡くなったのだな、と深くそう思いました。

せいそうけんは、私が思っているよりもずっと高いところにあると思います。そこに上昇気流でくもが発生し、どんどん上へ上がって、せいそうけんのところまでたどりつくと、せいそうけんがほうちゅうされていなりとできなれりことだから、目もたのなくもになつていて、私の想像していた入道雲のようなものよりもはるかにすごかったです。

私の中での太陽は、あつくて、メラメラもえているイメージなのですが、それよりも1000℃もたかい温度というのは想像もできず、とにかく高い温度、ということしかわかりません。そんな温度にもやされたら、もやされていける人を見たら、と思うと吐いてしまいそうになります。原爆前の広島県産業奨励館というところは、思ったよりも大きい建物で、今の骨組みだけの様子からは考えられないものでした。また、はるかから150mでたすかった人がいると知り、とてもおどろきました。その人がいた場所をうかがい、エラにおどろきました。コンクリートでできた電話局の地下のトイレ、という場所を聞き、エラにおどろきました。それよりも「本当にその人は生きてきたのだな」と思いました。今日聞かかかったことをよくきおくして、今後の生活に生かしていきたいと思ひます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



保護者

1945年8月6日、広島市に投下された原子爆弾の爆発の大きさ、熱量、温度、衝撃波の速度などエネルギー量を数字として教えていただき、科学的、客観的データとして把握することができました。たった1kgのウランの燃焼がもたらした甚大な被害をより強く実感することができたと思います。

原爆の戦争で使われた初めての被爆国として、日本が国際社会において平和を説く政治的意義は改めて強調おまでもありませんが、日常生活を一瞬で奪われてしまった広島、原爆にお死者の無念さ、人間の尊厳さえ奪われてしまった被爆者を直接目にしながら多くの人々を救済することができなかった耐え難い、慚愧にも似た感情。さらに何十年もの間、自分自身も被爆者として苦しめた池田義三様の体験を前に、戦争体験がなく平和な社会の中で生活してきた私には、先輩方に対してかける言葉さえ見つからず、無かさを感ずるばかりです。

原爆投下を歴史上の事実として知っていても、原爆に関する事実を踏みこんで考えることはなかなかありません。本日は自分の子供と原爆先生の授業を受講することができました。我々親にとっても、そしてこの先無限の可能性のある子供達にとっても大変貴重な機会をいただいたことに感謝しております。

これからもたくさんの方々に原爆に関する事実を伝えていただく崇高な活動を継続いただき、その結果、日本がそして世界の草の根から平和を求め、お世の中となることを願っています。改めて、本日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私が高校生の時に広島で被爆者の方のお話を聞く機会がありました。それは当時周りの学生も同様に修学旅行のプログラムの一環でした。ご自身の体験を淡々と、しかし重みのある内容に想像しにくいながらも心に残る内容だったことは憶えています。

今回この特別授業の案内をいただいた際には、今の子どもたちにどの場にお話下さるのが大変気になり、受講を申しませんでした。インターネットが何でも教えてくれる世代にとって、生身の人間が語る話に欲らい興味を持つのかも気になりました。

全体の印象としては、まるで社会と理科の授業を受けているようでした。但し、強烈な衝撃を与える事実を言及「原爆」がなければですが。具体的には地名や数値はリアリティがあり、より容易に被害を想像できました。東日本大震災があったことで私たちは「被爆の恐ろけ」を知ってしまいました。

現実は今も苦しんでいる人々がいることを忘れてはいけないと思っています。戦争は故意におこなうことで、日本の子どもがより深く学び知ることで核兵器の廃絶に向けて動いてほしい。この授業を忘れてはいけないと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゆうこう}別授業を受講して



学生の頃 色々な媒体を通じ 原爆の恐しさを
学んでおりましたが、今回のお話を聞き、今までとは違ふ
心に重く のし掛かる様な気持ちを持ちました。

池田先生が、原爆が投下されたその場にいらし、体験
されたお父様のお話を、まさにご自身の体験の如くに話して
下さったからだと思ひます。しつこく話された事を想像し、まさに
地獄の様な人間の尊厳もふみにじられる、みじめな状況
であったことと、たまたた体が震える思ひでした。

しかし、終戦後に広島平和記念資料館の展示物をご覧に
なされた先生のお父様が「きれいさぎさ」とおっしゃったことに、
実際の状況は想像しきれない程なものであったのだと感心、
やはり、実際に体験された方の言葉ほど、心に訴えてくるもの
はないと思ひました。子供達の世代からは 体験者の方の言葉を
聞くことほど難しくなります。この悲劇を世界の人人々に知ってもらい、
二度と起こしてはいけないという気持ちを持ち、もらうために、
私達はどのように行動すべきか、考えさせられた時間でした。
娘と共に同じ情報を学べたことも貴重なことであつたと
感謝しております。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業では貴重なお話を
聞かせていただき、ありがとうございました。

子どもの時に、戦争や原爆について勉強は
したのであるが、実際に体験された方の
お話を聞くのは初めてで、あまりに生々しく
恐ろしい話に衝撃を受けました。

最後のビデオの池田さんの涙は、何十年
たっても体にも心にも深い傷として残っ
ているのと胸が痛くなりました。

今の日本は平和ではありましたが、戦争を
経験された世代の方から若い世代
にしっかりと伝えていかなければいけない
のだと改めて感じました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

この授業を通じて原爆が本当におそろしいものだと
わかりました。生きた人が一瞬の間にシミになって
なくなってしまうという話が衝撃的で、生き残った人モ
どのくらい一生苦しんでいたかと思うと原爆のこわさを
より一層深く感じました。

戦後70年以上経りましたが、もっと多くの方が
原爆の被害を忘れず、二度とこのようなことが
起きないようびに留めるべきだと思いました。

あらためて家族でこの話題をテーマに話合いました。
またいつか広島原爆資料館も訪ねてみたいと
思います。貴重な体験のお話をいただき
ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

大変貴重なお話しをありがとうございました。

最後は涙が止まりませんでした。

松山・広島も長崎も行ったことはいく、原爆の話は、
毎年終戦記念日のTV特番を視聴するのを楽し
んでいます。

今回のビデオで池田先生のお話は、TVで放送
されるよりも、お話しを聞く心を探る感じが
たいていボール木で原爆に当たった、地獄
罪の無い人々の死、それを見越えて平和を
訴え、平和を争うのは日本と日本人の力に
誇りを持てるべきだと思います。

子供達の中にこの平和の大切さを伝わり
未来の世界を想って、欲心を置いて上げせん。
本日はありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

本日は貴重なお話を伺うことができ、大変感謝しております。

戦争の話は父から時々聞くことがあり、又、子供の頃「はだしのゲン」

などで見聞きしただけでも恐ろしく涙したのですが、今回のお話は

さらに凄惨な、人の所業とは思えない内容で涙が止まりませんでした。

全ての物が、人が、一瞬で炭化する… それを効果的に実現する…

辛すぎる記憶であるがゆえ、人々は目を背け、口を閉ざしているのかも

しれませんが、この平和は悲惨な事実、多くの犠牲の上にあり、

今後このような不幸をくり返さないためにも、子供達は知るべきだと

思いました。

東北の震災後、何もなくなつた海へ続く景色。あの切ない景色を見る

日が来るとは思いませんでした。

二度と原爆という恐ろしい現実が来ることがないよう祈ってやみません。

辛い実体験を話して下さい、お父様、それを伝える活動をして下さる

先生の思いを胸にきざみ、平和の重さを改めて感じさせていただけ

ました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



今日は、貴重なお話をありがとうございました。

兵隊だった方のこのような詳しい体験談を聞くのは初めて
でしたので、大変勉強になりました。

原爆資料館へも足を運んだことはありますが、実体験
としてその悲惨さを目の当たりにした方の声は、とても胸に
響くものがありました。

原爆投下によって被爆してこられた方々はもちろん
ですが、その後処理などに携わった兵隊の方々もまた
戦争被害者としてのと改めて感じ、辛く悲しい気持ち
になりました。

世界中が平和になることを祈りますが、唯一このような
体験をした日本は特に、積極的に平和を守る
姿勢でいて欲しいと願うばかりです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



原爆先生の特別授業を受講し、恥ずかしながら
初めて知ることがたくさんありました。

原子爆弾が上空で爆発した時、直径は200m。
その表面は7000℃にも達したというお話は
衝撃的でした。その温度は1億5000万kmも地球
から離れた太陽の温度より高く、一瞬にして
すべてを気体にしてしまうという事実は想像を絶する
ものでした。

亡くなった方は14万人、広島市の40%にも達する。
その方々、お一人お一人の命が人生が一瞬で奪われた
ことに激しい憤りを感じました。

今日の受講は子どもたちにとってショックなこともあった
かと思いますが、それでも事実を知る大切さを親子で
共有できたことに感謝いたします。これから長い人生を
歩んでいく子どもたちが将来間違った判断を
しないよう、今日の体験をしっかりと胸に刻んでほしいと
思いました。そして原爆めぐり、なるべく多くの方に、
日本人だけでなく外国の方にもこの授業を受講して
ほしいと思います。